

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

埼玉県 鴻巣市

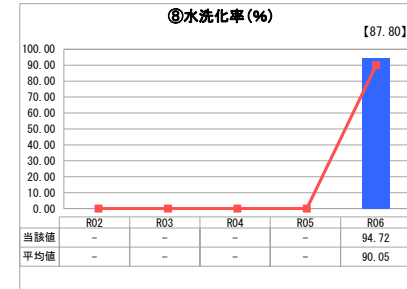
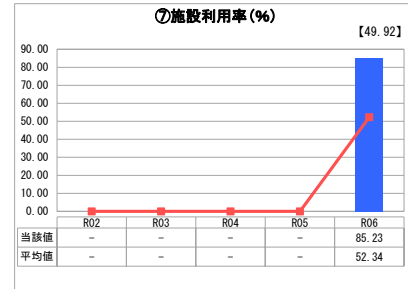
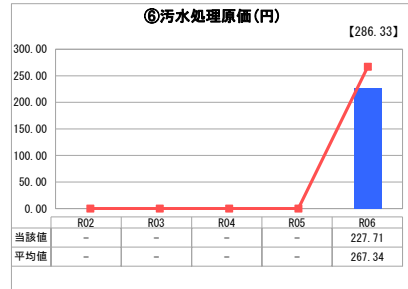
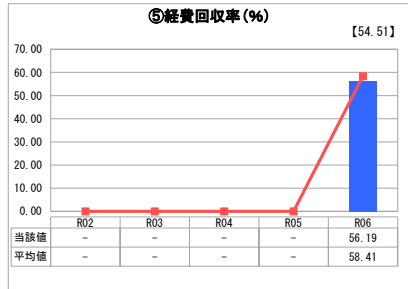
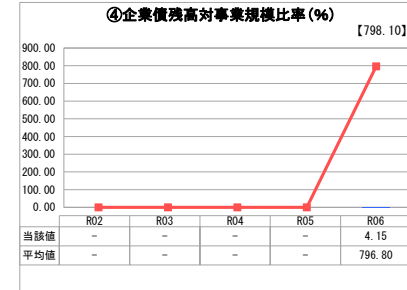
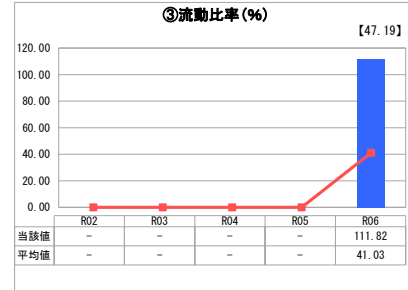
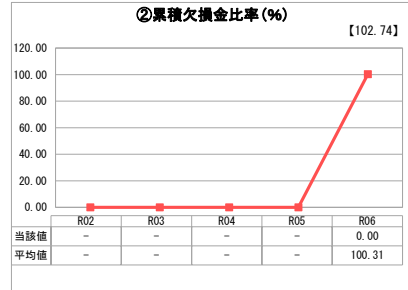
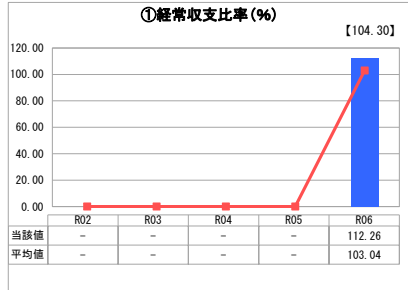
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	82.96	2.11	88.66	3,025

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
117,564	67.44	1,743.24
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,481	1.97	1,259.39

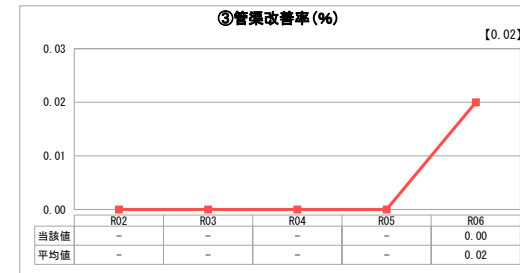
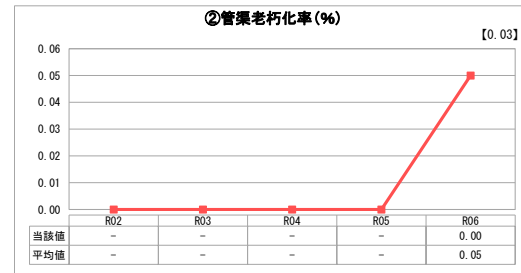
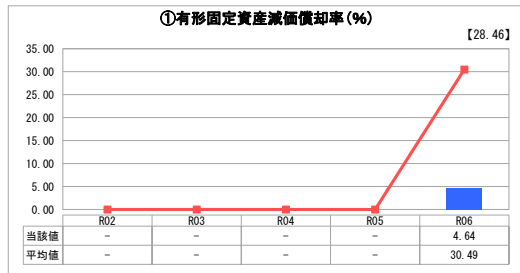
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度は、法適用後最初の決算となった。  
 「①経常収支比率」100%を上回っており、単年度収支は黒字であるが、収支不足を一般会計からの基準外繰入金で補填しているためである。  
 「②累積欠損金比率」未処理欠損金が発生していないため0%である。  
 「③流動比率」100%を上回っているが、一般会計からの補助金に依るところが大きいため、楽観視することなく、流動資産の確保に努める。  
 「④企業債残高対事業規模比率」整備が完了し建設改良に伴う新たな借入を実施していないため残高は減少している。企業債残高の多くが公費負担となるものであり、類似団体平均値と比較し極めて低い数値となっている。  
 「⑤経費回収率」100%を大きく下回っており、類似団体平均値よりも低い状況である。使用料の確保と維持管理費用の見直し・削減を進め、比率向上に努める。  
 「⑥汚水処理原価」類似団体平均値を下回っている。計画的な維持管理に努め、経費削減に取り組む。  
 「⑦施設利用率」類似団体平均値と比較し高い数値を維持しており、今後も適切な施設規模を維持し、効率的な運営を継続する。  
 「⑧水洗化率」類似団体平均値と比較し高い数値を維持しており、引き続き未接続者への個別訪問等により水洗化率向上に努める。

### 2. 老朽化の状況について

法定耐用年数に達している管渠を保有していないため、管渠老朽化率は0%である。また、管渠の更新・改良等を実施していないため、管渠改善率も0%となっている。  
 処理施設については、平成23年度、平成24年度に笠原地区処理施設、平成30年度、令和元年度に笠原第2地区処理施設の改修工事を行っている。

### 全体総括

令和6年度は、法適用後最初の決算となり、経営分析は前年度までとの比較ではなく単年度での評価となった。  
 本市の農業集落排水事業は、汚水処理にかかる費用が使用料収入で賄われていないため、一般会計からの補助金で収支不足を補っており、非常に厳しい経営状況である。適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減への取り組みが必要である。また、最適整備構想に基づき改築や修繕等を計画的に実施し、持続可能で安定的なサービスを提供する。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。